海

# 地球をめぐる水と水をめぐる人々

すしいもんがく

#### **冲 大幹** 東京大学 生産技術研究所

Apollo 17, Dec. 1973

by courtesy of NASA

c/planetary/earth/apollo17\_earth.jpg

第111回東京大学公開講座「水―その文化と科学―」

ポステム開講座・ホーでの文化と将子一 安田講堂、2009年11月7日



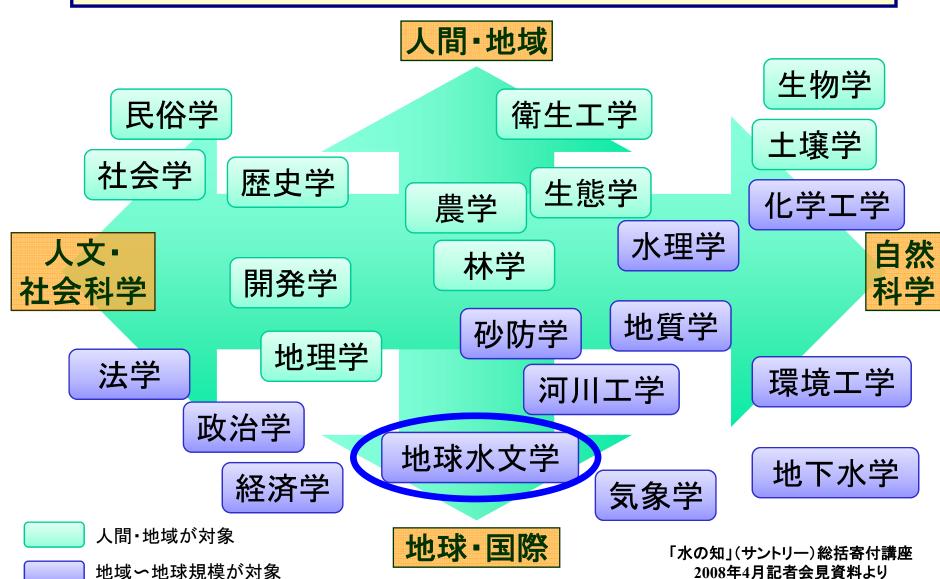


## 水文学の定義 (UNESCO, 1964)

- ◆水文学(すいもんがく)が対象とするのは...
  - ✓地球上の水の発生、水の循環、水の分布
  - ✓水の物理的、化学的性質
  - ✓物理的、生物的環境と水との相互作用
  - ✓人間活動に対する水の応答
- "水文学(hydrology)は地球上の水の循環のすべてを対象とする学問分野である"



# 「水の知」の構造化(例)







室内実験 野外継続観測 海外現地調査

グローバル水循環モニタリング グローバル水循環予測 水循環への人間活動影響評価



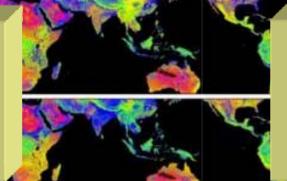
EQ.

TRMM/PRによる地表面観測

入計算値存在を考慮した合成カラー関係

903

データ収集・発掘 統計処理・数式処理 数値モデリング



リモートセンシング 地理情報システム 巨大データベース





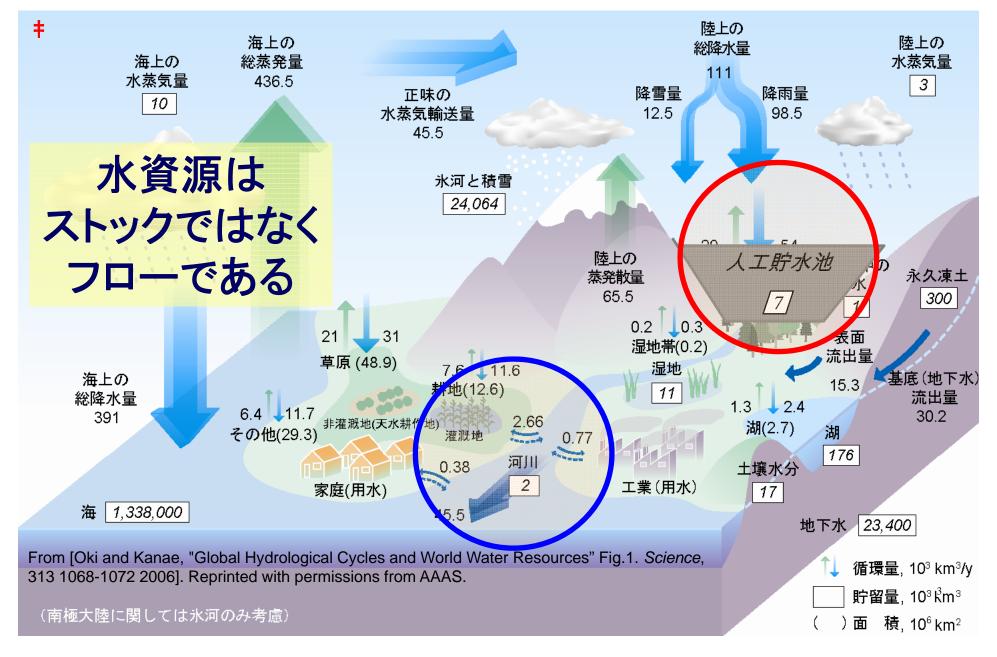
## 世界の水問題

- ▲命の水:安全な飲み水へのアクセス
  - ✓世界人口の1/7が1km以内から20L/人/日確保不能
    - ※→乳幼児の死亡180万人/年。
- ▲ 豊かな水:農業生産、工業生産
  - ✓総取水量3,800km³(1995)→4,300-5,200km³(2025)
- ◆快適な水:人と生態系のための水
  - ✓過大な取水による生態系へのダメージ
- ▲地球温暖化 都市化進展→洪水・渇水被害深刻化
- ◆これらの問題が国際的な紛争の引き金に?

●"水の惑星"地球 でどうして水不足 が生じるのか?

✓しかも水は循環資源

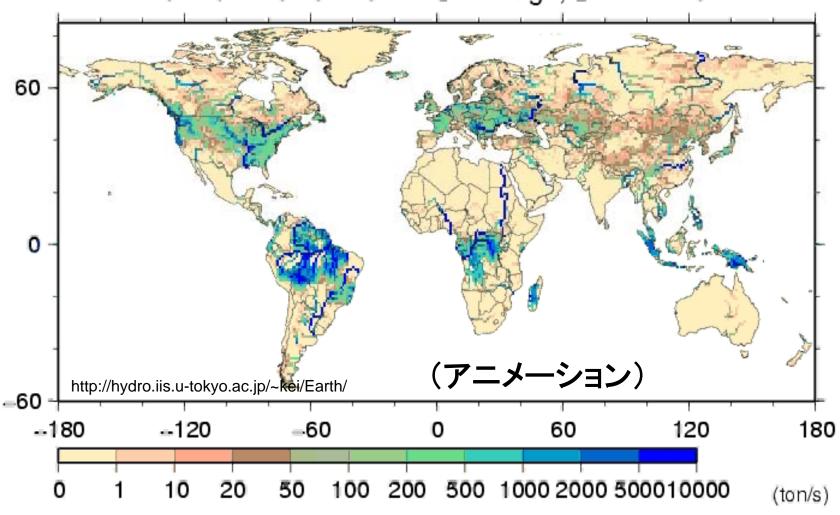
#### 地球上の水文循環量と貯留量





#### なぜ水不足が生じるのか?!

GPV=IsoMAT=1°TRIP River Discharge, 2006/01/01 00:00



水資源は地理的、時間的に偏在している

←川の流量が少ない

数値モデルによる流量シミュレーション結果

川の流量が多い→

- ◆水を運べばい いじゃないか?!
  - ✓ 貯めておけば 大儲け?!



## 水の値段

LSALL 水

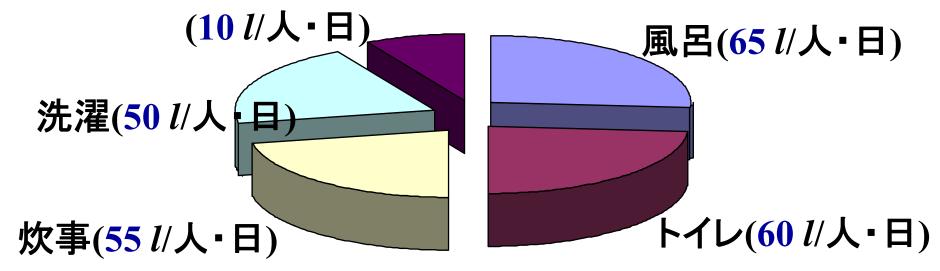
D水 C経





## 日本ではどの位水を使ってる?

その他、歯磨きなど

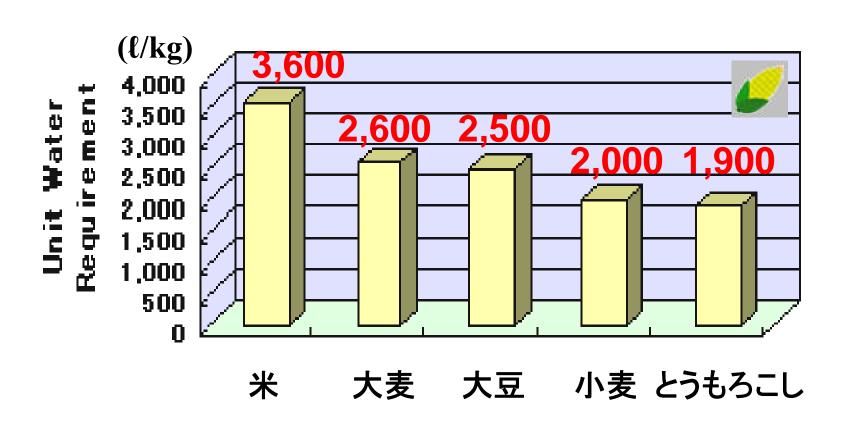


家庭での水利用 250 l/人・日(東京都平成10年度) 都会全体では約 310 l/人・日(散水、噴水、病院、...) ⇔飲み水は2~3 l/人・日

風呂、トイレ、炊事、洗濯 ←全部洗浄用!!

「水を使うことは水に汚れを運んでもらうこと」





主要穀物の水消費原単位

(日本の単位収量、国際連合食糧農業機関の統計より1996-2000年の平均値)

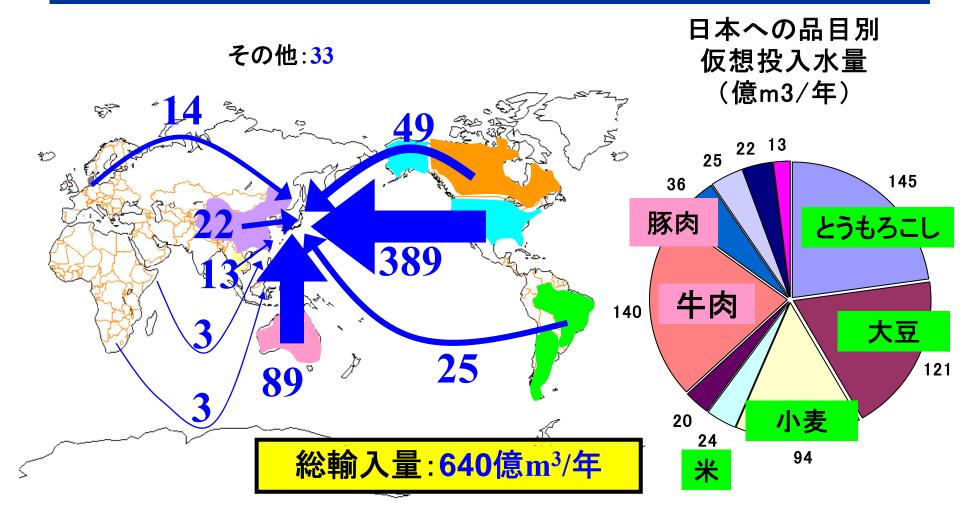




放送大学大学院政策経営プログラム「環境工学('07)」第8回授業より引用

http://hydro.iis.u-tokyo.ac.jp/

# 日本の仮想投入水総輸入量



日本国内の年間灌漑用水使用量: 570億m<sup>3</sup>/年

(日本の単位収量、2000年度に対する食糧需給表の統計値より)

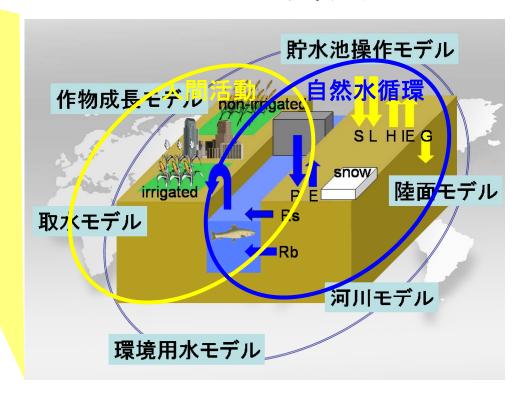
http://hydro.iis.u-tokyo.ac.jp/



## 全球統合水資源モデルの開発



- ▲東京大学と国立環境研究所との共同開発
  - √河川モデル部分は欧米研究機関へ「輸出」
  - ✓IPCC第四次報告書6/23のモデル出力が利用
- ▲出力項目:水資源量+水利用量
- ◆現状の解像度:1°×1°(緯度・経度)、日単位
- ▲窒素循環、動的地下水への拡張中。
- ▲実時間洪水リスク予測への応用実装中。
- ◆特徴1: 充実した人間活動サブモデル✓取水、灌漑、ダム操作、環境用水など✓人口推計では都市と農村を分離
- ◆特徴2: 高い時間解像度✓水資源量と水利用量を日単位で計算
- ◆特徴3: 高い要素間の整合性✓気象条件が全てのサブモデルを駆動
- ◆特徴4: 気候変動予測との親和性 ✓IPCC SRESに沿う水需要の将来予測 ✓気候モデルの陸面過程部分の利用







## 取水源別日本のウォーターフットプリント (生産にどの水がどのくらい使われたのか?)

日本の総ウォーターフットプリント ヴァーチャルウォーター輸入量 it: km³/year Unit: km<sup>3</sup>/year 28.8 38.7 Other 3.1 Other 3.3 Total: 42.7km<sup>3</sup>/year 日本のウォーターフットプリンド() d) External water footprint (non-renewable gw) 日本のウォーターフットプリント(灌漑水) 3.9 1.5 0.17 0.004 **Other** 2.3 Other 1.3 Total: 7.3km<sup>3</sup>/year Total: 2.9km<sup>3</sup>/year



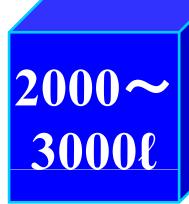
## 実はどの位水を使ってる?



- ✓ 生きるために不可欠
- ✓ 全部瓶詰め水でも約200~400円/日
- ▲ 1日200~300リットルの水道水
  - ✓ 健康で文化的、快適な暮らしに不可欠
  - ✓ 全部水道水なら約20~40円/日
- ▶ 1日2000~3000リットルの雨水+潅がい用水
  - ✓ 穀物や牧草、家畜の餌が育ったりするのに不可欠
  - ✓ 全部潅がい用水なら約5~10円/日
  - ✓ 目安として1kcalの食料≒1リットルの水
  - ✓ そのうち半分くらいは海外からの水





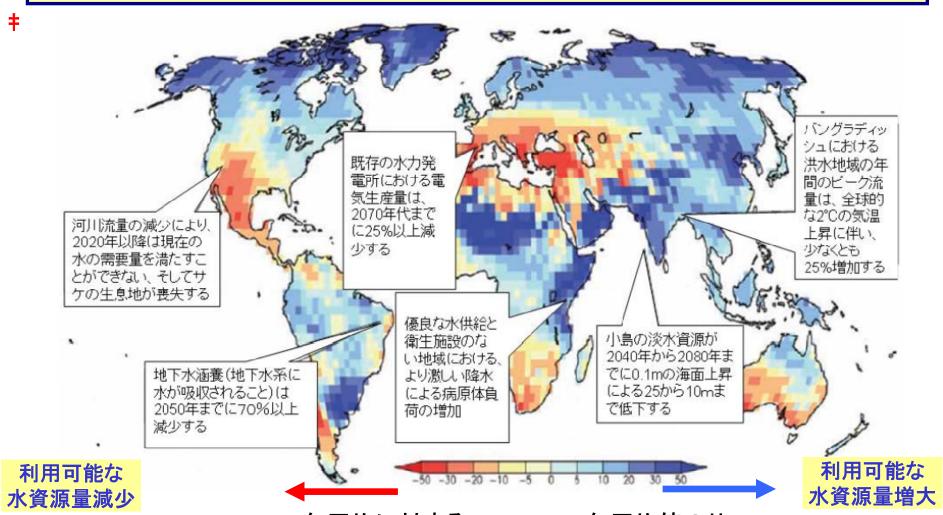




◆気候変化と都市化が洪水、旱魃、高潮、土砂崩れなどの水災害危険度を悪化させる可能性が高い...



## 温暖化に伴う水資源賦存量の変化



1981-2000年平均に対する2081~2100年平均値の比(%)

Climate Change 2007: Impacts, Adaptation and Vulnerability. Working Group II Contribution to the Fourth Assessment Report of the Intergovernmental Panel on Climate Change, Figure 3.8. Cambridge University Press.



# 温暖化対策

- ◆緩和策←温暖化対策というと、これが主?
  - ✓地球温暖化の進行を遅らせ、悪影響をできるだけ 少なくするように温室効果ガスの排出量を減らす。
  - ✓省エネ、大気汚染緩和、エネルギー安全保障(→ 原発推進)等現状の問題解決に有効、新産業創出。
  - →後悔のない政策
- ▲ 適応策←従来の防災、社会開発と変わらない?
  - ✓地球温暖化が進行しても、不利益が生じないように、 社会の脆弱性を減らす(社会を強靭にする)
  - ✓ 貧困削減、農業開発、災害被害軽減など、現在の 様々な問題の解決にもつながる。

# 水分野の適応策

- ◆貯水池とダム建設による貯留容量の増加⇔緑のダム?
- ◆地下水の探査と汲み上げ
- ▲海水淡水化
- ●雨水貯留の普及
- ▲水輸送
- ◆再生水利用による水利用効率の改善
- ◆穀物作付け時期、品種、潅漑手法、植え付け面積の変 更による灌漑用水需要の削減
- ●従量料金導入や水市場拡大など経済的手法の導入
- ◆農作物輸入による潅漑需要の削減(仮想水輸入)



- ◆ 水を使うのは悪いことか?
  - ✓手を洗うと大腸菌が1/10(15 秒)、1/100(30秒)...
  - ✓日本で節約しても他国でその 分使えるわけではない?!
- ◆世界の水問題解決へ向けて 日本はどう貢献できるのか?
- 日本の水は安泰か?



## 市民としてできること

- ◆ 食料を無駄にすることは水を無駄にすること
  - ✓残飯を減らす。不要な食品は買わない。
- ▲水の循環を健全に保つこと:量、質、持続性
  - ✓自分達の体もまた、地球規模の水循環の一部
  - ✓水をきれいにしてから自然の循環に返す心がけを
  - ✓エネルギーを使わない水利用の仕組みの導入を
- ◆見えない水の恩恵に思いを馳せること
- ▲ 身近な水を大事にすること ← あきらめないこと
- ◆ 水を無駄に使ったり、汚したり、水源を使い尽くして生産された製品を購入しないこと⇔逆は?!

#



吉村和就···沖大幹



▲本日触れられなかっ たトピックも含めて、 世界の水問題とその 解決へ向けた取り組 みについてはこちら の新刊書もご参照く ださい。(ロビーにち らしがあります)

日本人が知らない巨大市場水ビジネスに挑む

沖 大幹、吉村和就、技術評論社 2009年12月5日初版第1刷発行 ISBN978-4-7741-4044-5



Anyone who can solve the problems of water will be worthy of two Nobel prizes - one for peace and one for science.

(John F. Kennedy, 1917 – 1963)

水の問題を解決できる人は、平和賞と科学賞、ノーベル賞2つ分の価値がある。(ジョン F ケネディ)

